

授業概要

実際の保育の現場を想定して、子どもの姿に寄り添いながら、表現・造形活動を進めることの理解を目指す。保育の現場で行われる季節の行事や、子どもが日常で感じる季節感を取り入れた制作を行ため下記の3つのスキルを学ぶ。

- ・子どもの表現と発達の関係について学び、子どもの制作についての基礎を理解する。
- ・保育の現場や子どもの日常を想定して、使用する材料や道具の有効性や、季節や行事に連動した活動題材の設定について学ぶ。
- ・上記の学びを踏まえ、指導案を作り模擬保育を行う。それにより子どもの動きを想定しながら、実践に役立つ現場力を養う。

これらの学びを通して、保育・教育者としての適切な指導のあり方を考えるよう指導する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	幼児の表現とは
第 3 回	幼児の表現と発達 (1) (発達に合わせた材料と用具)
第 4 回	幼児の表現と発達 (2) (発達に合わせた制作と環境設定)
第 5 回	材料の研究 (1) 様々な紙素材
第 6 回	材料の研究 (2) 自然素材、身近な素材
第 7 回	道具の研究 (1) 絵具の多様な使い方
第 8 回	道具の研究 (2) クレヨンの多様な使い方
第 9 回	道具の研究 (3) 絵具とクレヨンの素材の特性
第 10 回	絵本からの展開 「絵本」の素材研究
第 11 回	絵本からの展開 (1) オリジナル絵本の構想
第 12 回	絵本からの展開 (2) オリジナル絵本の制作「下絵作り」
第 13 回	絵本からの展開 (3) オリジナル絵本の制作「色塗り」
第 14 回	絵本からの展開 (4) オリジナル絵本の制作「発表」
第 15 回	「オリジナル絵本」指導案作成
第 16 回	作品発表・講評

到達目標

- ・保育・教育者として、子どもの造形活動を支援、指導する為の知識や基礎となる技能が身につけることができる。
- ・子どもの造形表現・描画における発達段階を理解し、造形活動を展開することができる。
- ・子どもの日常や季節から造形活動を展開することができる。
- ・子どもの表現の豊かさに気づくための、共感性が身につけることができる。

履修上の注意

造形活動で用いられる様々な材料・用具(絵の具・画用紙・糊等)の準備をする。

予習・復習

子どもの制作や作品を理解するために、予習・復習として子どもの作品に触れる機会をもってください。授業外の時間で、子どもの作品展に行ったり、子どものワークショップに参加する。

評価方法

制作準備・環境設定 30%、課題作品 40%、学習態度・協調性 30%)

テキスト

特に指定なし。